

かめやま 社協だより



民生委員・児童委員活動で厚生労働大臣表彰を受けた



まつなが さとこ
松永 里子 さん
(天神)



災害ボランティアセンター ご存知ですか？ ~亀山社協 災害時のとりくみ~

近年、全国各地で台風などの自然災害が多く発生しています。その度に多くのボランティアさんが被災地に駆けつけ、泥出しや家屋の片づけなどの復興・復旧支援を行っていただいている様子をメディア等で見られたことがあると思います。

社会福祉協議会では、被災された方々への支援や災害時にボランティア活動を円滑に行うため、さまざまなカタチで災害支援に取り組んでいます。



被災地支援 — 広がる支援の輪

昨年、令和元年東日本台風等により各地で甚大な被害が発生しました。亀山社協では、地域のみなさんと一緒になって復興支援を行いました。

高等学校

亀山高校生徒があいあい祭りで義援金を呼び掛け



民生委員・児童委員

市内スーパー前において職員とともに一週間の街頭募金活動を実施



亀山社協

- 義援金の募集
- 職員の派遣など

ボランティア

亀山朗読奉仕会
街頭募金用アナウンスの吹き込み



災害ボランティア
被災地に出向いての支援活動



小学校

川崎小学校3年生が栽培したサトイモを販売し、義援金として寄付



被災地の災害ボランティアセンターに社協応援職員の派遣も行いました。

昨年11/3～11/9の7日間、栃木県栃木市災害ボランティアセンターの運営支援に社協応援職員として行ってきました。実際センターに入ってみて、迅速かつ臨機応変に対応することが、駆けつけたボランティアさんや被災された方に寄り添う支援に繋がるんだと思いました。改めて、災害に備えることの大切さを実感しました。



地域包括ケア推進係
川原田 純也



平時からの取り組み — 起こりうる大規模災害に備えて

マニュアルの制定

南海トラフ地震などの大規模な災害に備え、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、発生時に一刻も早い復興を実現するための体制整備に努めています。

訓練の実施【令和2年1月18日(土)】

マニュアルを活用し、一般社団法人ピースポート災害支援センター垣貫 紀彦氏を講師にお招きして、はじめての災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。災害ボランティアの岡田 義昭氏から昨年の台風19号支援活動報告を受けたのち、ボランティアセンター運営スタッフ役とボランティア役に分かれて訓練を実施しました。社協職員をはじめ市職員・災害ボランティア・亀山青年会議所の計34名の方々にご参加いただきました。



Facebookのリアルタイム更新で情報発信の訓練も行いました！



参加者の声

● 混乱した状況で、本当に相手の気持ちになって考えることができるのか？など実際にやってみて感じることが多く、訓練の継続が大切だと実感しました。

● たくさんの情報・人・モノが行きかう現場。センター内はもちろん各関係機関や地域住民との情報共有・連携の重要性を改めて感じました。

参加者のみなさんが一丸となって、緊張感を持ち取り組んでいました。様々な事態を想定して物を揃えたり、知識を得たり、仕組みを作ったりという事も大事ですが、災害時は想定した事だけが起こるわけではありません。それらを乗り越える為にも、「被災者中心」「地元主体」「協働」などの共通認識を大切にしながら、これからも“オール亀山”で取り組んでいきましょう。



一般社団法人ピースポート
災害支援センター 垣貫 紀彦氏

**亀山社協では
これからもみなさんと“今できること”に
ひとつひとつ取り組んでいきます。**

亀山市には、私たちの生活の身近なところで活躍している、福祉に関わる方々がたくさんいらっしゃいます。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

民生委員勤続
22年!

厚生労働大臣表彰受賞

元 民生委員・
児童委員

まつなが さとこ
松永里子さん(75)



天神・和賀 男の料理教室にて

天神にお住まいの松永 里子さんが民生委員・児童委員として職務に精励し、その功績が顕著であることをたたえる社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

松永さんは平成9年から令和元年までの22年間にわたって民生委員・児童委員として活動されました。

民生委員・児童委員としての活動はもちろん、天神・和賀まちづくり協議会 福祉の会や亀山市食生活改善推進協議会など地域のさまざまところで中心となって活躍される松永さんにお話をうかがいました。

◎ 民生委員・児童委員になっ たきっかけは？

◎ A 2人の息子が大学に進学し、先の見通しがついた50歳の頃、仕事を退職しました。できた時間で放送大学や図書館に通っていたところ、周りの人たちに勧められて引き受けることにしました。

◎ 民生委員・児童委員になっ てよかったことは？

◎ A たくさんのことを勉強させてもらったことです。また、一緒に頑張れる仲間たちに出会えたことが何よりも大きいです。活動の中で、さまざまな人と出会い、「この人はこういう人なんだな」と理解する機会

が増えたことで、旦那さんに少しの事で怒らなくなりました(笑)

◎ 長く続けるための原動力は？

◎ A 基本的に何でもやりたい、やる気に満ち溢れているタイプ。なので民生委員・児童委員も自分に合ってたんだと思います。

あとそもそも頼られる事が好きなんやろうなあ。

◎ 地域で活動するとき心が けていることは？

◎ A 誰にでも公平に声をかけるよう心掛けています。もうやめたから終わり、というわけではなくて気さくにいろんな人に声をかけるようにしています。

◎ 最後にひとこと。

◎ A 「生涯現役」を目指して、前向きに過ごしていきたい。

そうすることでこれから先もずっと元気でいられる気がします。



伝達式にて櫻井市長と



あとがき

小学校でお茶を教えるなど茶道の先生としても活躍されている松永さん。インタビュー当日も素敵な茶道の稽古着でお答えいただきました。

いつもはつらつとした松永さんの周りには自然とたくさんの方が集まっています。「元気なうちは地域の人と楽しく過ごしたいなあ」と笑顔でいきいきとお話しされる姿がたくさんの人を惹きつける魅力なんだと改めて実感しました。インタビューにうかがった私たちも松永さんのはじける笑顔に元気をもらいました♪受賞おめでとうございます!

令和2年度助成事業の募集を行います

サロン活動推進助成事業

地域住民、ボランティア等が主体となって高齢者や子育て中の親子等の外出機会の提供及び仲間作りの場であるサロン活動に助成を行います。

- 1 「ふれあい・いきいきサロン」(65歳以上の方及びその支援者が対象)
- 2 「子育てサロン」(子育て中の親子対象)
- 3 「コミュニティサロン」(地域住民誰もが対象)

【助成要件】

- ・ 5人以上で組織する団体
- ・ 月に1回以上、1回1時間以上の開催
- ・ 原則として個人負担を徴収すること(食事代、材料代など)

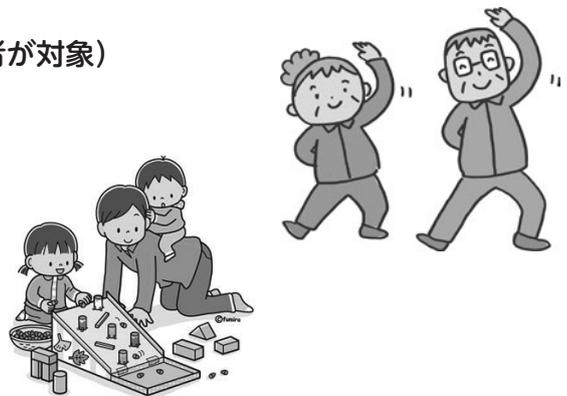
【助成金額】

月額3,000円(年間36,000円以内)

【申請期間】

令和2年4月1日(水)～4月30日(木)まで

※申請期間外の申し込みについては、個別にご相談させていただきます。



共同募金配分金助成事業

社会福祉の向上を目的とする事業並びに地域住民のニーズに基づく地域福祉事業等に要する経費で、公的補填のないものに対して行います。

※ただし、次のものは除きます。

- ①役員会、総会、大会経費及び職員の人件費等、団体の運営に要する経費
- ②2県以上にまたがる地区を対象とした大会や会議に要する経費
- ③他団体から委託を受けた事業の経費補填
- ④その他、社会福祉を目的とする事業と認めがたい事業の経費

【申請期間】

令和2年3月16日(月)～4月16日(木)



福祉ボランティア基金助成事業

ボランティアセンターに登録している、またこれから登録しようとしているボランティア団体を対象に、社会福祉の向上のために行うボランティア活動に要する経費で、公的補填のないものに対して行います。

ボランティアセンターに登録すると、ボランティア基金やボランティア活動保険の助成を受けられる他、ボランティアルーム及びロッカーの使用や活動を紹介することで、グループのPRにも繋がります。

【申請期間】

令和2年3月16日(月)～4月16日(木)

各助成事業の申請書は、窓口またはホームページからダウンロードできます。
申請受付時間は、土日、祝日を除く8時30分から17時15分まで。

●各種無料相談をご利用ください

☎82-7985 生活支援係

相談名	心配ごと相談（元公証人による相談）	社協による法律相談
相談日時	毎月第2・4金曜日 13:00~15:00	毎月30日(土日祝の場合は前の平日に繰上開催) 10:00~12:00
相談内容	日常生活上のあらゆる心配ごとや困りごとの相談 相続、遺言、賃貸借、離婚等の相談	成年後見、権利擁護に関する相談に対し、 弁護士による法律相談
場所	あいあい1階 個別相談室、相談室2	あいあい1階 個別相談室
申込等	原則予約制ですが、当日申込可。	予約制。前日午前中まで受付。 ※予約者がいない場合は相談は開設しません。

- ◆公証人とは、裁判官や検事、法務局長などを長く務めた法律実務経験豊かな者の中から、法務大臣が任命する法律の専門家です。
- ◆心配ごと相談は、社会福祉協議会から委嘱を受けた、相談援助の豊富な経験を有する方です。

●新入職員紹介

おかの ちか
岡野 千佳 (地域福祉係)

【好きなこと】

身体を動かすこと、雑貨を見ること

【ひとこと】

地域福祉係に配属されることになりました。一つ一つの仕事を丁寧に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



●社会福祉センターをご利用ください!

社会福祉センターでは3階集会室の貸館を行っています。
会議や研修、サロン、サークル活動等にぜひご利用ください。
場所: 亀山市若山町7-1
問合せ先: 96-8163
(管理人室)



きずな通信 vol.1

「感染症にご注意ください」

亀山地域包括支援センター「きずな」からのお知らせ

高齢者や免疫力が低下している方が重症化しやすいとされているインフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症が流行しています。

5つのポイントを実践して、しっかり予防しましょう。

感染症を予防する5つのポイント💡

- うがい・手洗いを心掛けましょう。
- 咳エチケットに努めましょう。
- 無用に人混みに入るのはやめましょう。
- 部屋の湿度を適度に保ちましょう。(目安として50%~60%)
- 十分な休養とバランスのとれた食事をしましょう。



善意の寄付 (令和元年12月1日~令和2年2月29日まで)

櫻井潤一様、安全文化村様、トンカチ様、三重県遊技業協同組合亀山支部様、鈴鹿農業協同組合様
古河電気工業労働組合三重支部様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数 (令和2年3月1日現在)

市総人口 49,660人	65歳以上の人口 13,233人(男性5,921人 女性7,312人)
世帯数 21,600世帯	18歳以下の人口 8,819人(男性4,559人 女性4,260人)
	高齢化率 26.6%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)
再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP <http://kameyama-shakyo.or.jp>

facebook <http://facebook.com/kameyama.shakyo>

facebookにて最新情報お届け中!!



亀山社協

検索

“いいね!” お待ちしています♪